高野校だより

舞鶴市立高野小学校
令和７年度学校だより
第６号
令和７年８月 28 日発行

校訓　至誠　進取　自治　協同

〒624-0832 舞鶴市高野台１－１
Tel 0773-75-0768　Fax 78-3050
HP　https://takano-maizuru.edumap.jp

七転び八起き　チャレンジする２学期に

風物詩の百日紅（さるすべり）

暑い日が続いていますが、朝夕に吹きわたる風に、少しだけ秋の訪れを感じるようになりました。夏休み中、児童の安全へのご配慮、ご家庭や地域での温かい見守り、声かけなどお世話になり、本当にありがとうございました。

数々のドラマや感動を生んだ全国高校野球選手権大会において、3,396 校の頂点に立ったのは沖縄尚学高等学校でした。この大会の中で一度も負けなかったチームは当然のことながら１校のみです。あとの 3,395 校はすべて負けたことになります。甲子園の地で敗れたチームもあれば、地方大会で敗れたチームもありますが負けた回数はどのチームも１回だけです。負けた時点でそのチームとしての挑戦は終わってしまうのですが、それまでの努力や様々な過程、思いはそれぞれのチームに数えきれないほどあったことと思います。

負けた時の悔しさは一生懸命やってきた時ほど大きいと思いますが、この「負け」をしっかりと受け止め、次に進んでいかなければならない時は誰にでもあるのではないでしょうか。そんな時にいつも思い浮かべるのが相田みつをさんの『負ける練習』という詩です。

受身～負ける練習～

相田みつを

柔道の基本は受け身、受け身とは投げ飛ばされる練習。人前でたたきつけられる練習。人前で転ぶ練習。人前で負ける練習です。つまり人前で失敗をしたり恥をさらす練習です。自分のかっこ悪さを多くの人の前でぶざまにさらけ出す練習。それが受け身です。柔道の基本では、かっこよく勝つことを教えない。素直に転ぶことを教える。いさぎよく負けることを教える。長い人生にはかっこよく勝つことよりもぶざまに負けたりだらしなく恥をさらすことの方がはるかに多い。だから柔道では、はじめに負け方を教える。しかも本腰を入れて負けることを教える。その代わり転んでもすぐ起きあがる。負けてもすぐ立ちあがる。それが受け身の極意。極意が身につけば達人だ。若者よ、失敗を気にするな。負けるときはさらりと負けるがいい。口惜しいときは「こんちくしょう！」と正直に叫ぶがいい。弁解なんか一切するな。泣きたいときには、思い切り泣くがいい。やせ我慢などすることはない。その代わり、スカーッと泣いて、ケロリととめるんだ。早くから勝つことを覚えるな。負けることをうんと学べ。恥をさらすことがうまくなれ。そして下積みや下働きの体験をたっぷりするのだ。体験したものは身につく。身についたもの、それはほんものだ。若者よ、頭と体のやわらかいうちに受け身をうんと磨いておけ。受け身さえ身についていれば何回失敗しても、すぐ立ち直ることができるから。そして負け方や受け身の本当に身についた人が世の中の悲しみや苦しみに耐えて、人の胸の痛みを心の底から理解できる優しく、温かい人になれるんです。

学校では日々の学習や行事などを通して、よりよく生きるためにはどうすればよいのかということを学んでいます。成功することや勝つこと、物事をより効率よく進めることなどは、もちろん大切なことですが、失敗した時、負けた時にどうすればよいのかを考えることも大切だと考えます。失敗を恐れて二の足を踏んだり、挑戦をしなかったりすることは成長のチャンスを逃すことになります。人としてしなやかにたくましく生きるためには、トライアンドエラーを重ね、その過程と原因をいかに次に活かしていけるかが重要です。そして、その経験が成長につながり、より豊かな人生を送ることにつながるのではないでしょうか。子どもたちには、負けることを恐れず、何事にも挑戦してほしいと思います。

２学期には多くの行事があります。夏休み中に蓄えたエネルギーをいろいろな場面で発揮し、数々の挑戦をすることで力を伸ばしてほしいと願っています。日々の教育活動において、一人一人が力を発揮し、達成感や成就感が味わえる、また自己肯定感や自己有用感を高められる、子どもたちにとって実りのある２学期となるよう教職員一同努力していく所存です。

後になりましたが、先日の環境整備作業では暑い中、教室や廊下、階段などの普段なかなか手の届かないところを中心に、ほこりやごみを取ったり、丁寧に磨いたりしていただき、子どもたちが気持ちよく２学期のスタートを切ることができるように環境を整えていただきました。作業にお越しいただきました保護者の皆様、子育て支援・地域の皆様、平日の出にくいところではありましたが、大変お世話になりありがとうございました。また運動場の除草作業をお世話になりました高野グラウンドゴルフクラブの皆様、高野ドジャースの指導者様、通学路沿道等の除草をお世話になりました地域の皆様には心より感謝申しあげます。保護者様、多くの地域の方々の心強い思いや支えがあってこその学校教育であることを改めて感じ取ることができました。暑い中での作業をお世話になり誠にありがとうございました。

初秋とはいえ、まだまだ残暑厳しい日が続きそうです。保護者の皆様、地域の皆様にはお体を十分ご自愛ください。２学期もご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

校長　材木　敏志　　教職員一同